

マイトマイシンはアルキル化剤であるため、薬剤の取扱いにはご注意ください

※注：本剤は生理食塩液以外で溶解することは推奨されておりません

マイトマイシン（一般名：マイトマイシンC）は、二重鎖DNAへの架橋形成を介してDNAの複製を阻害し細胞増殖抑制作用を示す薬剤です。薬剤の調製時・廃棄時にあたっては以下の点にご注意して安全に取扱ってください。

1. 薬剤調製時

- ・調製場所は、クラスⅡタイプB2以上の性能を有する安全キャビネットを使用することを推奨します。
- ・ディスポーザブルのガウン、手袋、サージカルマスク、キャップ、保護メガネを着用し、手袋は二重にしてください。
- ・作業用吸水シート上で調製してください。
- ・注射針は18G又は21Gを、注射シリンジはルアーロック型の使用を推奨します。
- ・注射シリンジで薬液を吸引する場合、シリンジの規格容量を超えないようにしてください。
- ・陰圧操作を行ってください。
- ・注射シリンジに薬液を吸引する際には、針刺しを起こさないように十分注意してください。

2. 薬剤調製後

- ・調製後のボトル等は、専用の搬送容器等を用いて搬送してください。
- ・安全キャビネットを使用した場合、安全キャビネット内において、本剤の滴下や吹き出し等による明らかな汚染がない場合でも、エアロゾル等によりキャビネット内に汚染が拡散している可能性があるため、不織布を用い水拭きを行い、その後、キャビネット内の無菌性を保つために、消毒用アルコールで消毒してください。
- ・二重手袋の外側の手袋をはずしてからガウン、サージカルマスクなどを取り外し、最後に内側の手袋をはずし手洗いをしてください。

3. 廃棄

- ・残液、薬剤の容器、ディスポーザブル製品の器具、用具、施術に使用した医療用スポンジ片、清掃に使用した布、ペーパータオル及び本剤に汚染された物の廃棄は、他の一般廃棄物と区別して行ってください。
- ・残液は、外部に漏れ出ないようにバイアルなどに戻し、ゴミ袋に入れ密栓して廃棄してください。
- ・最終的な処理方法は、焼却処理してください。

4. 汚染時の処置

・被曝者に対する緊急措置方法、緊急受診方法、および汚染環境の清掃方法などについて施設ごとに実施可能な方法をあらかじめ定め、本剤曝露時の対応は職員に十分に周知してください。

(1) 皮膚への付着

- ・付着した場合は、速やかに十分な流水および石鹼で洗い落としてください。
- ・大量に付着した場合は、応急処置後に皮膚科を受診してください。

(2) 目に入った場合

- ・直ちに流水で十分洗い流し、必要に応じて眼科を受診してください。

(3) 針刺し

- ・注射針を刺した場合は、直ちに作業を中断し、流水下で血液を絞り出してください。

(4) 床等にこぼした場合

- ・ガラス破片を取り除き、薬液が広がった周囲側から紙か布で汚染の中心に向かってふき取ってください。

(5) 廃棄物の分別

- ・本剤に汚染された物の廃棄は、他の一般廃棄物と区別して行ってください。
- ・廃棄物は所定のゴミ袋等に入れ、密閉し、他に汚染が広がらないように注意してください。

日本病院薬剤師会監修：抗悪性腫瘍薬の院内取扱い指針 抗がん薬調製マニュアル 第4版 参照